

# Indonesia Weekly

2020年12月14日



(対象期間：2020/12/7～2020/12/11)

## 【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年12月11日)



## 【株式市場】

週初は中国のSinovac社が開発した新型コロナウイルスのワクチンの第一便が到着したとの報道を受けて大幅上昇となりました。インドネシア政府は安全性と効果が確認できれば数週間で使用を許可するとみられています。首都ジャカルタの行動制限は12月21日まで再延長されましたが、市場への影響は限定的でした。10日、政府のたばこ税引き上げを受けてたばこ株などは下落しましたが、株価指数は週初的大幅上昇の後には高値圏でもみ合いとなりました。

2020/12/4	2020/12/11	変化率
5,810.48	5,938.33	+2.20%

## 【債券市場】インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年12月11日)

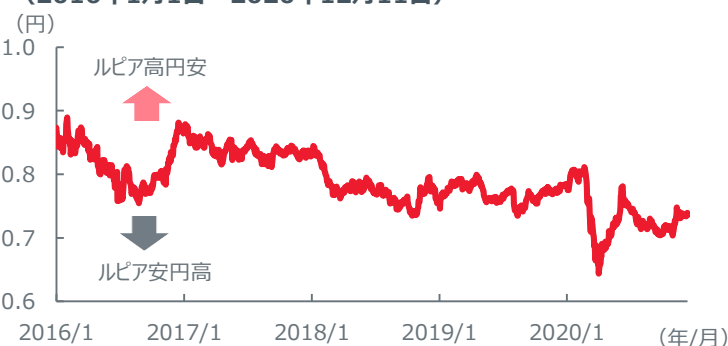


## 【債券市場】

週初は、8日の年内最後のイスラム国債入札を前にして様子見ムードが広がり、インドネシア10年国債利回りはやや上昇（価格は下落）しました。8日の入札では、引き続き国内投資家からの強い需要がみられました。さらに、政府は10日に負担軽減プログラムを利用したインドネシア中央銀行引き受けの変動金利債を発行し、2020年の発行目標額を達成しました。週末にかけて、外国人投資家の堅調な資金流入を背景に利回りは低下しました。

2020/12/4	2020/12/11	変化幅
6.194	6.138	-0.056

## 【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年12月11日)



## 【為替市場】

ルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。引き続き債券市場に海外投資家からの堅調な資金流入が見られたことや、2021年2月1日からたばこ税が12.5%引き上げられることによる政府の税収増への期待などを背景に、ルピアは堅調に推移しました。また、新型コロナウイルスのワクチンが中国から到着したことも好感されました。

2020/12/4	2020/12/11	変化率
0.7348	0.7357	+0.12%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがあります。将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。

